

ディリー・ジーザス・ニュース #354

天国におけるイエスの永遠の奉仕

初代教会における復活したイエスの継続した言葉と働き

パウロが極度の弱さの時に、イエスはパウロにご自身を現される
コリント人への第二の手紙 12章1-10節

1わたしは誇り続けなければなりません。それによって何も得るものはありませんが、主からの幻と啓示について語り続けたいと思います。

2私はキリストにある人を知っています。彼は十四年前、肉体のままであったか、肉体を離れてであったか、私は知りません。神はご存じです。第三の天にまで引き上げられました。3そして私は知っています。肉体のままであったか、肉体を離れてであったか、私は知りません。神はご存じです。4そしてパラダイスに引き上げられ、口に出してはいけないこと、だれも語ってはならないことを聞きました。5私はこのような人について誇りますが、自分の弱さ以外、自分自身については誇りません。

6たとえ誇ろうとしたとしても、私は愚か者ではありません。真実を語っているからです。しかし、私は、私が実際に行ったり言ったりすること以上に、だれにも私を過大評価されないように、控えめにしています。7それは、これらの圧倒的に偉大な啓示のためです。

それで、私は高ぶりすぎないように、私を苦しめるサタンの使いである一つのとげを肉体に与えられました。8私は三度、それを取り去ってくださるよう、主に熱心に願いました。

9しかし、主は私にこう言されました。」わたしの恵みは常にあなたに十分である。わたしの力は常に弱さの中で完全に現れるからである。」

ですから、私は自分の弱さを、むしろ誇り続けましょう。そうすれば、キリストの力が私を天幕のように包み込んでくれるでしょう。10だからこそ、私は弱さの中にあっても、侮辱の中にあっても、苦難の中にあっても、迫害の中にあっても、どんなに困難な状況にあっても、キリストのゆえに、いつも感謝し続けます。なぜなら、私が弱いとき、私は本当に強いからです。

THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体**はイエスの言葉を示します。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト

位置	マケドニア(ギリシャ中部)のどこか
タイムライン	イエスの昇天から約26年後
イエスの生涯の文脈	第9段階:イエスの復活と永遠の宣教
	イエスの永遠の奉仕
	初代教会における復活したイエスの継続した言葉と働き
タイトル:	イエスはパウロがひどく弱っていた時に彼を励ます

の朗読でパウロに与えられたイエスの約束は、すべての信者に直接当てはまります。これは、心を尽くしてイエスに従おうとする人々に対してイエスが語った、最も励みとなる重要な言葉の一つであり、昇天後約25年、天における永遠の宣教活動の中で語られたものです。また、これはパウロの。宣教活動中に新約聖書に記録された、昇天したイエスの最後の具体的な言葉でもあります。

パウロは、常に彼を悩ませる肉体の病に悩まされていました。それが何であったかは分かりませんが、肉体に刺さった」とげ」のように、痛みを伴うものであったことは確かです。パウロはそれを「サタンの使者」と呼び、「自分」を苦しめる」とさえ言いました。この病は、彼が常にあらゆる悪の勢力に抵抗していること、そして自分がいかに弱いかを思い起こさせました。

使徒はこの苦しい病の癒しを三度祈りました。イエスは毎回「ノー」と答えました。しかし、神の愛に満ちた恵みによくあるように、その「ノー」は、パウロにとってイエスからのより良い「イエス」への入り口となりました。主は、この病によって生じた弱さの中に、ご自身の力が絶えず働き、パウロが絶え間なく恵みの流れを経験して支えられるようにと約束されました。この絶え間ない力の注入は、瞬間的な奇跡的な治癒よりもパウロにとって良いものでした。なぜなら、それはパウロを謙虚にさせ、主の存在と力に常に頼らせたからです。

パウロは自分の弱さを誇ることを学びました。なぜなら、弱さこそが、パウロの人生においてイエスが特別に用意してくださった力の場だったからです。彼はこう書いています。『私たちはこの宝（キリスト）を土の器に持っています。それは、この圧倒的な力の偉大さが、私たち自身からではなく、神から出るようになるためです。』（コリント人への手紙二 4:7）私たちの創造主であるイエスは私たちを弱くされました。ですから、私たちは愛をもって従順に従うために、イエスの力の偉大さを経験しなければならないのです。パウロのように、私たちの最大の苦しみと弱さは、イエスの力と恵みの豊かさを私たちにもたらす鍵なのです。

パウロの最初の反応は、自分の病状に対する癒し、あるいは解放をイエスに祈ることだったことに注目してください。これは私たちにとっても良い出発点です。イエスは天における永遠の宣教において、奇跡的な方法で癒しと解放を続けておられます。しかし、奇跡を求める祈りに「いいえ」という答えが返ってきた時、私たちも、私たちを苦しめるものに対処するための絶え間ない恵みと力という、より大きな「はい」という答えに誇りを持つことを学ばなければなりません。そうすれば、イエスに従うことの弱さや困難にもかかわらず、前進することができるのです。

神は、私たちを瞬時に解放するよりも、絶えず恵みと力を与え、心からの感謝と喜びをもって、私たちを苦しめるものに耐えられるようにしてくださる方が、通常、より完全に神に栄光を帰します。奇跡は、過去に私たちに起こったことに対する賛美と証しを生み出します。恵みと力が絶えず新たに注がれることは、神が現在も私たちに対して示し続けてくださっている慈しみと愛の、絶え間ない証しを生み出します。これこそ、他の人々が最も聞く必要があるメッセージです。罪深く堕落した世界に生きるということは、私たち皆が生涯を通じて何らかの痛みや苦しみと闘うことを意味します。私たちは皆、勝利の姿勢で前進するために、絶え間ない恵みと力を必要としています。これは、パウロへの言葉を通してイエスが私たち一人一人に与えてくださった約束です

応用：

あなたをいつも苦しめている「棘」は何ですか？この約束は、どのようにあなたに希望と力を与え、勝利の姿勢でその「棘」を乗り越える力を与えてくれますか？